



特定非営利活動法人秋田キャリア支援ネットワーク 代表理事  
Be linked 代表  
**鈴木 尚登** すずき ひさと  
大学卒業後、首都圏の金融会社にて22年間勤務し、営業、マネジメント、人材育成等を経験し帰郷。秋田県教育庁高校生就職支援員、フレッシュワークAKITAキャリアサポーターとして業務にあたった後、横手市雇用創出協議会の事業推進員として講演会・セミナー等の企画運営業務を経験。その後、伴走型支援のBe linkedを開業。令和元年6月には特定非営利活動法人秋田キャリア支援ネットワークを設立。

## 従業員の意欲向上、業績・生産性の向上、人材確保のために「魅力ある職場づくり」に取り組みませんか？（2）

組織が今後、勝ち残っていくためには、働く人が「ここで力を発揮したい」と思える環境を作ることです。固定概念に囚われず個々人の“働きがい”を重視している企業が勢いを増しているのもその証明です。言い換えると、従業員満足度やエンゲージメント（共感）が企業の成長要因や資産となっていくと言えるでしょう。



### 「働きがい・やりがい」と自己理解

「働きがい・やりがい」とは何でしょう？これは個々人の持っている価値観とつながりが深いと言われてます。賃金がどんなに高くても「働きがい・やりがい」を持ってない人がいます。逆に賃金に左右されずに「働きがい・やりがい」を持って頑張れる人もいます。

一人ひとりが“働く意味”を見つけることが組織の活性化や生産性向上に繋がります。それには、一人ひとりが自分自身を理解することが大事になります。どのような仕事がしたいのか（興味・関心）、どのように働きたいのか（こだわり・価値観）、何ができるのか（仕事に活かせる強み・能力）、に気づいてもらうことが重要です。その気づきから自分自身に必要なものを見出し、学び、経験し、成長する。この繰り返しはキャリア形成と言えるかもしれません。

### 企業自身の自己理解のためのSWOT分析

企業自身も自己理解や振り返りをする必要があるのではないのでしょうか？コロナ禍の今だからこそ、自社の強み・弱み・機会・脅威を見極めることはアフターコロナに向けて、今後の持続的な成長に欠かせないものの発見につながる可能性があります。

どの分野が強いのか。どういう人材がいるのか、必要なか。外で起きていることに機会はないのか。今後何が起きそうなのか。今のうちにやっておくことはないのか。弱みを武器にできないのか。これから訪れる脅威はないのか。コロナと同じような脅威にどのように対応するのか。

企画や経営に絡んだ仕事をするに「働きがい・やりがい」を感じるというデータもあり、従業員それぞれに自社のSWOT分析をしてもらう方法も有りかもしれません。



## 事業再構築、業態転換や副業、社内起業

企業成長のカギは「強み」×「機会」である。従業員も交えて自社の強みや機会を本気で分析することをお奨めします。その中に自社の強みと、従業員のしたいこと・できることが合致する部分が見つかるかもしれません。事業化するまでもないと判断された場合でも、その事業アイデアを副業や社内起業として認め

てみてはいかがでしょうか。そのことが、従業員の「働きがい・やりがい」になり、本業の生産性向上につながります。現状、賃金を大幅に上げることが困難でも副業や社内起業の制度を設けることで、もっと収入を増やしたいという思いを補うことができます。

### 専門機関や相談窓口の活用

国は、働き方改革、女性活躍推進、従業員のキャリア形成等をサポートするために専門機関を設置しています。

せっかくの相談窓口です。活用しない手はありませんよね。

支援内容	相談窓口
働き方改革、女性活躍推進、キャリア形成サポート	秋田働き方改革推進支援センター あきた女性活躍・両立支援センター 岩手・秋田キャリア形成サポートセンター
メンタルヘルス、治療と仕事の両立支援	秋田産業保健総合支援センター
経営課題解決に必要なプロフェッショナル人材とのマッチング支援	秋田県プロフェッショナル人材戦略拠点（あきた企業活性化センター内）

## 最後に

皆さんは、「3人のレンガ職人」というイソップ童話を知っていますか？

旅人が道を歩いていると、レンガを積んでいる3人の職人に会い、「ここで何をしているのですか？」と尋ねます。1人目は「レンガを積んでいるのさ」と答え、辛くて不公平だと考えていました。2人目は「大きな壁を作っているのさ」と答え、家族を養うために仕事があることに感謝していました。3人目は「歴史に残る偉大な教会を作っているのさ」と答え、教会の完成をイメージし、そこに訪れる人々の幸せまで考えていました。

同じ仕事をしているはずなのに、この3人の違いは何でしょうか？それは、「働く意味」（目的）をどう捉えているかです。

